

# 国道2号 防府～山口間 4車線化など 早期実現へ向け 総決起大会を開催

国道2号の未整備区間（防府市台道から山口市鑄銭司まで延長2・8キロ）の4車線化と歩道設置の早期実現を目指し、山口市と防府市が設立した「山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会」と、防府商工会議所、山防部会、防府商工会議所、マツダ防府工場安全衛生協力会、山口市立地企業連絡協議会、及び地元自治会が設立した「一般国道2号防府山口間整備促進民間期成同盟会」の共催で26日に新山口駅北口にあるKDDI維新ホールにて、「国道2号（防府市台道～山口市鑄銭司間）整備促進総決起大会」が開催された。



羽嶋 防府商工会議所会頭



伊藤 山口市長

大会は、県選出国會議員、国土交通省、県知事、県議長、地元選出県議會議員、両市の議長副議長、市議會議員を来賓に迎え、会場におよそ150名の官民間関係者が集う中、主催者側からの挨拶で、山防部会会長の山口市伊藤和貴市長は、「防府市台道から山口市鑄銭司

までの2車線区間は、朝夕の速度低下、事故等による企業活動への支障、また歩道の未整備が地域住民の安心・安全を脅かしており、現状の課題や将来像を踏まえ、現在、国土交通省、山口県、山口防府両市により、未整備区間の整備方針の検討を進めている。」と述べ、民間期成同盟会会長の防府商工会議所羽嶋秀一會頭は、「国道2号の未整備区間は、防府市のマツダ防府工場、ブリチストン防府工場などの主力工場と山口市の産業団地を結ぶ物流の大動脈である。3月に結成した民間期成同盟会は、山防部会と一丸となって、早期事業化に向け、様々な要望活動に取り組んで行く。」と述べた。



山田 山口河川国道事務所長



杉田 衆議院議員



島田 県議會議会運営委員長



村岡 山口県知事

## 大会決議

山口県の山陽側の各都市と広島県や福岡県等都市圏をつなぐ一般国道2号は、両市関連の多くの企業にとって物流の大動脈となるだけでなく、市内交通の円滑化を促進し、市街地の渋滞緩和や交通安全の確保を図るうえでも重要な道路である。

なかでも、防府市台道から山口市鑄銭司間は、昭和63年度に台道拡幅事業として事業化されたが、当区間のみ2車線及び歩道が一部未設置のまま、平成10年度から事業休止となっている。近年、山口市の山口テクノパークや鑄銭司団地等から、「マツダ防府工場」や「ブリチストン防府工場」などの主力工場に向けた部品供給に伴う往來が増加しており、渋滞や頻発する事故等による時間ロス等が生産活動に支障をきたしている状況である。

加えて、来年春には、新たに鑄銭司第二団地が分譲を開始する予定であり、今後、当区間の物流交通の更なる増加が予想され、円滑な交通の確保に向けた4車線化や、増加する大型車両の往來に配慮した地元の安全対策としての歩道整備が急務となっている。さらには、近年、激甚化・頻発化する災害に備え、国土強靱化を推進する観点からも、山陽自動車道とのダブルネットワーク強化の重要性がますます高まっているところである。

ついで、防府市台道から山口市鑄銭司間の、4車線化・歩道設置事業が一日も早く整備されるよう、山口市・防府市及び関係機関はここに集結し、総意のもと、次の事項について強く要望する。

- 一、地域の生産性向上、安全・安心の確保のため、一般国道2号の防府市台道から山口市鑄銭司間の4車線化・歩道設置を早期事業化すること。
- 一、地域にとって必要な道路整備が進められるよう、所要の道路関係予算を確実に確保すること。とりわけ、防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策について予算を確保し、事業の推進に取り組むこと。

以上決議する。

令和4年7月26日

国道2号(防府市台道～山口市鑄銭司間)整備促進総決起大会



池田 防府市長



喜多村 防府商工会議所顧問



本廣 鑄銭司自治会長

続く意見発表では、山口市鑄銭司自治会本廣正則會長からは、「大村益次郎の里、鑄銭司の願い」と題した発表が、防府商工会議所喜多村誠顧問は、「物流機能強化がもたらす地域経済の発展」と題した発表があり、会場からの大きな拍手が早期事業化に向けた地域住民や産業界からの気運の盛り上げをみせた。



ガンパロウ三唱の様子



吉田 県議會議員

大会は、山口県議會議員吉田充宏議員の「ガンパロウ三唱」、そして、山防部会副会長、防府市池田豊市長の「閉会挨拶」で幕を閉じた。



河野 山口商工会議所会頭